

4508および4509グループ用コンパクトエミュレータ M34509T2-CPEご使用上のお願い

720ファミリ4508および4509グループ用コンパクトエミュレータM34509T2-CPEを使用する場合の注意事項を連絡します。

1. 内容

M34509T2-CPEでPWM出力機能を使用したプログラムをデバッグする場合、本製品のP11/CNTR1端子（PWM出力端子）はエミュレーション回路が接続されているためポート出力と同様にT2ステータで出力が変化します。

このため本製品でのPWM出力波形は、実MCUが出力するものと異なります。

例

- (1) PWM出力のカウントソースがシステムクロックでかつ リロードレジスタR2L,およびR2Hの値がいずれも"00h"である場合、 タイマ出力される波形の周波数が実MCUと比べ約1/3になる場合があります。
- (2) エミュレーションMCU内部でのタイマカウント自体は実MCUと同様のタイミングで発生するため、タイマ割り込み要求フラグ発生と タイマ出力(CNTR1)端子の変化のタイミングが異なる場合があります。

2. 対応策

PWM出力機能の評価については、実MCUにてお願いします。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。